

都市の中の工場

前回関連書：『関東大震災』（ちくま新書 507、2004年）

東京は工業都市か

江戸の工場

佃島碓鍛冶 隠田水車 川口鋳物 深川（大島）鋳物

幕末の工場

湯島大小砲製作場（のち関口、滝野川一水力） 石川島造船場 技術普及の起点

開化の工場 ～大阪に次ぎ、より大規模な近代工業集積地

官営工場の集中

豪壮な建築 大阪造幣寮、東京印刷局はじめ 富岡製糸場など 煉瓦造、集中

— 国家事業の権威と開化の象徴

新技術導入の中心 赤羽工作分局（一工部大学校） 陸軍砲兵工廠 雇外国人、技師

セメント ガラス — 技術者、熟練工の養成 渡り職工

『ある技術家の回想—明治草創期の日本機械工業界と小野正作』（日本経済評論社、2005年）

民間大規模工場の誕生 製紙会社（三田、王子＝渋沢栄一） 鹿島紡績

立地の背景 用地（桑茶政策） 労働力 運輸 動力 原料 水利 情報

工場がもたらした近代 汽笛の知らせる時刻 武田晴人『仕事と日本人』（ちくま新書 698、2008）

都市拡大・再生の原動力 ～大正・昭和期の工場

技術伝播による工業の地方展開

大規模工場の拡張のための転出 1909 から川崎に…京浜工業地帯、研究機能等残置

電動機の導入（水力電気） 中小工場の存続、発展 問屋制家内工業的工場の集積

震災、戦災による立地条件の再生 戦時勤労働員

機械工業 熟練工の内部請負と独立

紡織工業 若年女性の寮生活 募集人による地方募集

雑工業 印刷業の集積 玩具その他 多様な働き手

集団就職の時代

1961年 東京都の中学卒業男子 89% 工員希望、うち 63% 金属・機械関係

1954～雑工業、商業中心の集団求人、繊維工場等への就職者含め集団就職列車

加瀬和俊『集団就職の時代』（AOKI LIBRARY 日本の歴史、青木書店、1997）

公害問題と製造業の行き詰まり 工業団地

工場から大学へ